

ごあいさつ

私の「落語で伝えたい想い」シリーズもこれで4作目となります。

一人ひとり持つ命の意味、ありがたみや温もりを、落語という表現方法を持って伝えてまいりました。

今回、題材に選ばせていただいたのは、先の大戦にて20万人余の犠牲を出した沖縄戦。

悲惨極まる状況下の中で、その若き命を散らした、特攻隊員とひめゆり学徒隊員と看護婦長にまつわるお話を聴きいただきます。

戦争という、あまりにも大きなテーマに挑む本作ですが、わたしの思いといたしましては「命」そのものを考える、そのきっかけの作品になればと願っております。

誰もが生きる今日という一日は、志半ばにして逝かれた全ての方々が生きたかった一日。

「一つ一つのその命には、大きな意味が込められている。」

その想いを、桂春蝶、心を込めて演じます。

皆さま是非、大切な人を思いながらこの一席をお聴きくださいませ。

三代目 桂春蝶



三代目
かつら しゅん ちょう
桂春蝶

実父である二代目桂春蝶の死をきっかけに落語家になることを決意する。

翌年、三代目桂春團治に入門し、二代目桂春蝶三回忌追善興行にて初舞台を踏む。2009年に三代目桂春蝶を襲名し、大阪松竹座・京都南座をはじめ全国20カ所で襲名披露公演が行われ各地でチケットが完売した。

2011年12月東京に拠点を移しテレビ・ラジオ、講演活動にも活動の場を広げる。近年は国内だけではなく、韓国、台湾、ベトナムでの落語会も成功をおさめ、文化の違いを超えて落語の世界を海外に広めている。

2014年 三代目桂春團治に入門し春菜を名乗ってから20年目を迎え、芸能生活20周年記念公演として独演会や「桂春蝶の落語で伝えたい想い。」をシリーズ化し次々と新作を発表。また、落語の新境地を切り開くため伝統芸能、音楽など多彩なジャンルとのジョイントにも積極的に挑戦し、20周年記念公演の締めくくりの特別公演として2015年大阪フェスティバルホールにて上方落語家として初の独演会を開催し2700席を完売した。

2016年、文豪・谷崎潤一郎の3人の妻を巡る私生活と仕事の謎に迫った芝居「天空の恋～谷崎と猫と三人の女～」で谷崎潤一郎役を演じるなど、落語のみならず活動の場を広げている。

福岡は2011年4月に初のお披露目。

来年(2019年)、大刀洗飛行場開場100周年・大刀洗平和記念館開館10周年を迎える記念事業の第1弾として大刀洗平和記念館で初の独演会をおこなう。

福岡の劇場情報ポータルサイト

劇ナビ FUKUOKA

<http://gekinavi.jp>

福岡県内エリアの劇場情報、最新エンタメ情報を配信！
前売りチケットをネットで購入、セブンイレブンで発券

お問合せ シアターネットプロジェクト 〒810-0021 福岡市中央区今泉2-4-58-204
TEL 092-739-2318 FAX 092-739-2319 E-mail info@gekinavi.jp

動画コンテンツ
充実